

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【公表番号】特表 2007-502695(P2007-502695A)
 【公表日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-006
 【出願番号】特願 2006-521915(P2006-521915)
 【国際特許分類】

B 0 5 D 3/06 (2006.01)
G 2 1 K 5/04 (2006.01)
G 2 1 K 5/10 (2006.01)
B 0 5 D 7/14 (2006.01)
B 0 5 C 9/12 (2006.01)

【F I】

B 0 5 D 3/06 1 0 1 Z
 G 2 1 K 5/04 E
 G 2 1 K 5/10 C
 G 2 1 K 5/04 W
 B 0 5 D 7/14 L
 B 0 5 C 9/12

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 5 月 8 日 (2007.5.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

車体上の 1 以上のコーティングを硬化する方法であって、

(i) 少なくとも 1 の電子ビーム硬化性コーティングで前記車体をコーティングし、

(i i) 1 以上の中～高電力、中～高エネルギー電子ビーム中に、前記車体を 1 回以上通過させ、

前記車体上のコーティングの少なくとも一部は、前記 1 以上の電子ビームの視線方向から外れている方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 1 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1 1】

車体上の 1 以上のコーティングを硬化するための方法であって、

(i) 少なくとも 1 の X 線硬化性コーティングで前記車体をコーティングし、

(i i) 中～高電力、中～高エネルギー電子ビームを金属目標物に衝突させて生成される 1 以上の X 線照射野中に、前記車体を 1 回以上通過させ、

前記車体上のコーティングの少なくとも一部は、前記 1 以上の X 線照射野の視線方向から外れている方法。